

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行. 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 458

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ鷹の合作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センター「あさやけ」	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東 1 階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0305
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



毎週、クラブ活動で小金井公園に行き散歩したり、体を動かしています。1月24日のときは大雪のあとで公園はまだ雪の原でした。足元に注意しての散歩になりましたが、貴重な体験でした。



雪原散歩

あさやけ作業所

第二十一回経営管理者総合研修会（きょううされん主催）が一月二六日・二七日の両日、中野サンプラザで開催された。「まもろう憲法 ひろげよう障害者権利条約」今こそ学び・考え・行動する管理者に」をテーマに、北海道から九州まで約三〇〇人が集まり、講師、参加者が心ひとつになった会場は熱気あふれる集会のようにも感じられた。

昨年「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現といった方向の中で、二〇一七年六月「地域包括ケアシステム強化法」が成立した。二十数年前に強調された「自助自立」に、今度は「互助」という言葉がキーワードのようだ。憲法で定められている「権利」としての「社会保障」や「公的責任」が無視され、さらに政府はその憲法を変えようとしてきている。

研修会では、埼玉大学名誉教授の暉峻淑子（てるおかいつこ）氏が「憲法七十年 対話する社会へ」平和な世界を次世代につなぐために」を記念講演された。九十才とは思えぬ暉峻氏の講演にみな心が震えた。「今年は年賀状にあけましておめでとうとは書かなかった…何がおめでたいものですか」

人権・平和がまもられてこそその共生社会

共同ホームサンライズ
植木 恵理子

と冒頭で。「今年は憲法の崖っぷちの年。日本国憲法はアジア太平洋戦争の悲惨な中で死んだ日本人（被爆者も含めた）三〇万人の遺志であり、普遍性をもった世界へのメッセージであり、アジアへの私たちの誓いです」と。憲法第九条（戦争放棄）二項に三項を加える加憲については「二項をいじると国民がうるさいので三項をつけようとしている。」「内閣総理大臣を最高指揮官とする国防軍を保持する」、後から付け加えられたものは効力をもつ。国民はそうしたことを知らされていない」「ドイツはナチスの過ちを国民に隠さなかった。しかし日本政府は国民に隠している」。最後に対話について「対話は人間の特権。平等な人間関係が前提である。：対話には勝ち負けがない。対話というコミュニケーションは民主主義の基礎。対話という人格形成の培養土の中で子どもは成長する。：対話には強い意志の力が必要」と話された。対話で伝えていくこと、まずは行動していきたい。

仲間紹介

ひとりひとりが太陽

通所して半年、楽しく働いています

門川 三千子さん

（あさやけ風の作業所）



門川三千子さんは、昨年の五月から実習を始め、八月から正式に風の作業所に入所しました。月曜日から水曜日までは、別の作業所に通い、木曜日と金曜日は風の作業所に通っています。

トレードマークは帽子です。夏は麦わら帽子、冬はニット帽。被っていない時には必ず手に持っています。ちなみに美容院は、銀座まで通っているそうです。

仕事はあおぞら班に所属し、採便管の袋入れを行っています。作業室内が騒がしい時には、大きな声で「うるさい」と一喝、なんてことも。作業所での目下の楽しみは給食のよう、いつも完食し、気に入ったメニューの時には「おいしいなあ、おいしいなあ」と言いながら食べています。

現在は、お母さんと二人暮らしですが、五人姉妹の末っ子で、小さい頃からずっとお姉さんたちに可愛がられて育ったそうです。今は、年に二回

ほどお姉さんと「ときめきレストラン」のアニメライブに行くのを楽しみにして、家でもDVDを見て踊っているそうです。

もうひとつの楽しみは、テルメ小川に行くこと。お風呂に入るのが嫌になってしまった時期を乗り越えて、週に二回、テルメ小川に行き、広い温泉にゆつくりとつかっています。スタッフのみなさんともすっかり仲良くなり「みっちゃん、みっちゃん」と声をかけてもらい、それも楽しみのひとつになっているようです。

一日の仕事を終えて、帰りの送迎車に乗り込むと、流暢な発音で「カモン、パーティー」と笑顔で手を振ってくれます。このセリフを聞かないと一日が終わった気がしないと、周囲の職員も。こんな風に、周りの人を慮にしてみよう。そんな魅力を持っている女性です。

活動報告 ～地域生活支援センターあさやけって良いな！～

2018年〇月

月	火	水	木	金	土	日
			1	2		
5	6	7	8	9		
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21				
26	27	28				

職員が作ったカレーをみんなで食べます。みんなでわいわい食べると大家族になった気分！

調理プログラム。自分で作った出来立てごはんが美味しくて、ついついたくさん食べちゃいます！

テーマに沿ってメンバー同士が自分の気持ちや体験を発表する会

ピアサポート～なかま会～

女子会

毎週(水)の午前中は女性限定プログラムの日。書道をしたり、女子会でお茶とお菓子を食べながら女子っぽいこと(ハンドマッサージやメッセージカード作り等)をしています。ガールズデーは女性限定交流室。

女性のための…書道

SST みんなの困り事について意見交換をする会。

支援センターの1ヶ月の活動報告会と、テーマごとの学習会。「熱中症について」「作業について」など学んだり、日帰りレクの行先やバザーの出し物についても話し合います。



メンバーに鬼になりきってもらい、節分の豆まき。鬼は～外！福は～内！



新年会でおせちとお雑煮を食べながら、新年のご挨拶。

【活動紹介】

地域生活支援センターあさやけは、小平元気村おがわ東内にあります。1998年に開設して、今年20年を迎えます。これまでに500名の利用登録者がありました。主に精神障害の方に利用して頂いていますが、その他の障害のある方も利用して頂いています。活動内容は、主に4つあります。①相談：地域で日常生活の困りごとや福祉サービスの利用、家族や友人等の対人関係のことについて話を聞きながら少しずつでも良い方に進むように一緒に考えていきます。②地域交流：交流室と呼んでいるフリースペースを設けており、プログラムも定期的に行っています。内容については、下記をお読みください。③日常生活支援：家庭への訪問や役所や病院等への同行、生活費等の金銭管理を必要に応じて行っています。④その他：1)作業所やグループホーム、ホームヘルプ等のサービスを利用する際に必要になるサービス等利用計画を、本人の希望を聞きながら作成しています。2)精神科病院からの退院支援や地域生活が安定して過ごせるように地域定着支援、3)アパートを転居したり、一人暮らしを始める方に不動産屋や保証人制度の紹介をする居住支援を行っています。

これからも市民の方に多く利用をして頂きたいと思っています。

【プログラム紹介】

毎月開催している定期プログラムと、季節ごとの行事や年に2回の日帰りレクを行っています。1ヶ月のプログラムの予定は表をご覧ください。定期プログラムのほかの年間行事としては、春にはお花見、夏には流しそうめんやスイカわり、冬にはクリスマス会や新年会など季節を大切にした行事を行っています。最近では節分の豆まきもしました。日帰りレクでは、毎年メンバーと一緒に先を考えていますが、ホテルバイキングや遊園地、スケートといった一人ではなかなか行けない場所をテーマに行先を決めています。

【交流室紹介】

(月)～(土)の12:00～18:00に交流室とよんでいるフリースペースを開所しています。作業所のように働く場所ではなく、お茶を飲みながらメンバー同士でお話したり、トランプなどのゲームをしたり、ゆったりと過ごす場所です。いつ来てもいつ帰っても良い場所で、作業所などのお仕事が終わったあとに息抜きで利用している人もいます。

いつもの交流室はこんな感じ。みんなでテーブルを囲んでお話しします。





◆石井 道子

一歩で夜勤をしてから4年が経っていることを知り、自分でも驚いてしまいました。当初はここまで長く続けられるとは思いませんでした。留学から帰った後も一歩で働きたいと思ったのは、一歩メンバーとの関わりが楽しかったり、ご飯が美味しかったり、大変さの中にも、やりがいや楽しみがたくさんあったからだと思います。

卒業後は、児童福祉の分野で働くので一歩での経験を活かして頑張ります。

残りわずかですが、これからも皆さんといろいろお話できるのを楽しみにしています！

◆野間口 道

東京学芸大学4年の野間口道（わたる）です。2年生の頃から一歩で介護のアルバイトをしています。仕事は大変なこともあります、利用者の方達と一緒に話したりテレビを観たりしてコミュニケーションを取ることが楽しみのなっています。私は今年度まで一歩を辞めるので、それまでにたくさんお話をしたいと思っています。



◆迎 明香

一歩で働き始めて1年が経ちます。

私はまさか自分が介護の夜勤をするとは、しかもけっこう楽しく続けられるとは思っていませんでした。

一歩では人間関係の基本的なことを学び直したような気持ちです。一般的には介護者と入居者というイメージがあるかもしれませんが、実際いろんなことで元気づけてもらったり、励ましてもらったり、私のほうが助けてもらうことのほうが多かったです。

こんなに温かく優しい環境で、そして学びの多い場所で働くことができ、とっても幸せです(^▽^)♡



ホームの生活を支えてくれる 夜間勤務アルバイトの皆さんから

共同ホーム一歩は花小金井にあるグループホームです。2001年2月に重度身体障害者のホームとして開設しました。2015年1月に国の制度に移行して、知的障害の方も利用できるようになりましたが、身体障害の方が多く利用しているホームです。男女併せて10名(男6,女4)で週五泊していて、週末には実家に戻っています。今年で16年目を迎え、設備の老朽化の波も押し寄せては来ていますが、メンバー並びに職員の若干の入れ替わりを経ながら、若い大学生の夜勤者さんや食事作りの方々の力を借りて今日も利用者の方達が楽しく生活を愉しまれています。今回は3月で大学を卒業して一歩を離れる4名の方に、一言書いていただきました。

夜勤のアルバイトをやった感想



◆田中 恭平

私は、グループホーム一歩では働かせていただいて一年弱になります。最初の頃は、自分一人で入浴や就寝、起床介助などが出来るだろうかと不安でいっぱいでした。しかし、分からないことは、利用者さんが教えて下さったり、支援が上手いかず、悩んでいる時は職員さんからアドバイスをいただきました。利用者さんとの距離も近くなりだんだん打ち解けることもでき、日々、試行錯誤しながら自分なりの方法を少しずつですが見つけることが出来るようになりました。まだまだ、学びの途中ですが、一歩で学んだ経験を活かし、これからも、利用者さんに寄り添いながら、利用者さんが少しでも安心して生活していけるような環境を考え、より良い支援が出来るように考えていきたいです。



CAZE CAFE



<営業日>

月・火・木・金

10:00 ~ 16:00 (4月~11月)

10:00 ~ 15:30 (12月~3月)

第3土曜日 10:00 ~ 14:30

雨天休業

西武拝島線東大和市駅下車 徒歩10分
あさやけ風の作業所内 TEL042-349-2366

コダイラブランドの商品紹介

あさやけの染め・織り 手織りマフラー

よもぎ、ログウッド、茜で染めた糸で
織りました。暖かさは抜群です

17cm × 180cm ウール100%

価格 5000円



あさやけ風の台作業所 042-346-2167 ブログ: <https://blogs.yahoo.co.jp/takanodaiasayake>

廃品回収のお知らせ

1月の廃品回収の回収量は12,440kgでした。内訳は新聞8,870kg、雑誌・ダンボール3,570kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて207,475円でした。

次回は3月17日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。